

題材の目標

- (1) 物と場所、大きさ、形や色彩が感情にもたらす効果や、造形的な特徴や制作の様子などを基に全体のイメージや作風などで捉えることができる。
- (2) 現代美術の美しさ、面白さを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めることができる。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に現代美術の面白さや考え方などに関心をもってよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

【準備等】 参考資料、ワークシート、タブレット端末、視聴覚機器、筆記用具

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 現代美術作品を鑑賞し、感じたことを発表する。</p> <p>★現代美術作品から、作者の思いを感じ取ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルコンテンツ資料で現代美術作品に触れ、感じたことを発表し合う。 ○ 教科書の参考作品を鑑賞し、気になる作品とその感想、疑問に思ったこと、おもしろいと感じたところなどを発表し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「建物ーブエノスアイレス」 レアンドロ・エルリッヒ ・ 「スイミング・プール」 レアンドロ・エルリッヒ ・ 「集積ー目的地を求めて 2014/2019」 塩田千春 ・ 「女神」 西野達 ・ 「泉」 マルセル・デュシャン ・ 「LOST #16」 クワクボリョウタ ○ タブレット端末を活用して調べてみたい作者や作品を選び、作品の特徴と作者の表現の意図などについてまとめる。 ○ なぜこのような作品を表現したのか、作者の思いを考える。 ○ 作者や作品について調べたことや、作者の考えについてまとめたレポートを発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次元コードを読み取り、動画を活用して作家や作品を紹介し、現代美術作品について第一印象をもたせる。 ・ どの作品のどんなところが気になったか、どんな部分に疑問をもったか、おもしろさを感じたか、などを問いかけながら鑑賞させる。 <p>【評】 現代美術の面白さや考え方などに関心をもち、そのよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などを考えるなどの見方や感じ方を深める活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書上 P. 61 を参照させ、20 世紀以降の芸術の流れについて触れるとともに、インスタレーションの表現などについても事前に説明しておく。 <p>【評】 物と場所、大きさ、形や色彩、制作の様子などに着目し、イメージを捉える活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品を見る側の人に問いかけたり、何を意味するかを考えさせたりするなど、作品や行為の背景にある作者たちの深い考えについて気付かせる。 ・ 作品について調べたレポートを発表し合わせる。 ・ 作品のおもしろさや作者の思い、考えについてまとめたレポートの文を確認し、他の現代美術作品にも関心をもち、新たな見方や感じ方を深めている生徒の考えを取り上げて紹介する。 <p>【評】 現代美術の美しさ、面白さなどを感じ取り、作者の表現意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】

本題材は、20 世紀以降の芸術家には、「この作品は何を意味しているのだろう」と見る人の思考を揺さぶったり、すでにあるものに新たな意味を加えたりして新しい表現を生み出してきた人たちがいる。そうした芸術家たちの芸術に対する考え方や表現の意図に触れさせ、作品の見方や感じ方を深めさせることをねらいとしている。